

# 平成31(令和元)年度事業報告書

〔 自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日 〕

公益財団法人 人工知能研究振興財団

AI技術は、IoTなどとともに第4次産業革命実現の共通基盤技術であるとして、業種・業態を問わず、研究開発が進展し、あらゆる分野での実用化が急速に進められております。

政府においても、成長戦略の柱として、「Society5.0」(超スマート社会)の実現に向け、『コネクテッド・インダストリーズ』という新戦略を推し進め、AIの社会実装、活用に向けた最先端の研究開発が行われており、こうした中で、当財団が設立当初から実施しています研究助成事業は、今後ますます重要性が増大すると考えられます。

一方、当財団を取り巻く運営環境は、超低金利が続く中、極めて厳しい財政に置かれており、前年度来から検討がなされています。財団の公益事業目的である人工知能研究振興等を継続的に維持・充実を図っていく方策として、他公益法人への事業引継ぎ等を引き続き検討を行いました。

また、令和2年2月以降、新型コロナウイルスが猛威を震い、政府は4月に緊急事態宣言を発令し、様々な行動規制等の直中にあります。今後予定されている事業活動等への影響が懸念されるところでありますが、事態収束の状況等を見極めつつ、可能な範囲で実施していく必要があります。

## I. 事業の概要

平成31年度の事業計画に基づき、次の事業を行った。

### 1. 人工知能の研究に対する助成

#### (1)人工知能研究助成金の交付

##### ① 研究対象分野

- ・人工知能に関する調査、研究及びその利用技術の開発
- ・人工知能関連技術の高度化に関する研究・開発

② 募集期間 令和元年7月1日～令和元年9月30日

③ 審査委員 名古屋大学名誉教授 稲垣 康善 氏 ほか11名

④ 審査委員会 第1回審査委員会 平成31年4月23日  
第2回審査委員会 令和元年10月11日  
第3回審査委員会 令和元年11月20日

⑤ 助成金の総額 500万円

内 訳	応募		助成	
	件数	要望額(万円)	件数	助成額(万円)
大学等	71	6,974	10	500
企業	0	0	0	0
合計	71	6,974	10	500

⑥ 研究助成金交付先・研究テーマ及び助成金額 (別紙)

2. 人工知能に関する講演会、シンポジウム、セミナー等の開催

以下について、関係機関とも連携・協力を図り、開催形態として後援、協賛、協力、実行委員会組織等により実施し、事業の充実に努めた。

(1) 講演会・研究助成金交付伝達式

◇「第28回人工知能研究発表講演会」

(併催:令和元年度第30回人工知能研究助成交付伝達式・交流会)

・日 時 令和元年12月5日(木) 13:30~19:00

・会 場 今池ガスビル 7階 ダイアモンドルーム

① 令和元年度第30回人工知能研究助成交付伝達式

② 令和元年度人工知能研究助成対象者による研究内容・目標の発表

③ 特別講演

タイトル:「人工知能時代のビジネスを考える」

講 師:株式会社チェンジ 執行役員

オンラインマガジン「ビッグデータ マガジン」編集長

高橋 範光 氏

④ 参加者数:講演会等 44名、交流会 34名

◇「第26回人工知能研究成果発表会」

・日 時 令和元年9月17日(火) 13:30~16:00

・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム

① 発表者 5名

② コーディネータ 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏

③ 参加者数:57名

<参考>

令和2年3月6日(金)、今池ガスビルにて開催を予定していた「第27回人工知能研究成果発表会」については、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、中止することとした。なお、今回の中止による代替開催を令和2年9月に予定しているが、新型コロナウイルス感染防止の状況等、諸般の事情を見極めた上で、開催の可否を判断することとする。

## (2) 実行委員会による事業

### < ロボットシンポジウム2020名古屋 >

テーマ：「ロボット・AIが未来の社会を拓く」

- ① 開催日時：令和2年2月5日(水)～6日(木)  
(次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2020 と同時開催)
- ② 会場：名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)  
(名古屋市千種区吹上 2-6-3)
- ③ 主催：ロボットシンポジウム2020名古屋実行委員会  
[構成団体] 愛知県、名古屋市、(公財)栢森情報科学振興財団、  
(公財)名古屋産業振興公社、(公財)人工知能研究振興財団、  
ヒューマンロボットコンソーシアム
- ④ 後援：経済産業省中部経済産業局、(一社)中部経済連合会、  
名古屋商工会議所
- ⑤ シンポジウム(講演)  
《開催日 令和2年2月5日(水) 参加者数 165名(延べ入場者数)》  
【プログラム】
  - ◆開会挨拶  
ロボットシンポジウム2020名古屋実行委員会 委員長  
ヒューマンロボットコンソーシアム 会長  
名古屋大学・豊橋技術科学大学 名誉教授 稲垣 康善 氏  
司会・コーディネータ：名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏
  - ◆基調講演  
タイトル：「明るい未来のための AI とロボットの活用法」  
講師：札幌市立大学 学長  
中島 秀之 氏
  - ◆講演 1  
タイトル：「画像技術・視覚 AI が社会基盤を拓く ～身近の等身大の科学技術～」  
講師：中京大学名誉教授・(同)YYC ソリューション CEO  
輿水 大和 氏
  - ◆講演 2  
タイトル：「センサーロボットにおける AI 活用の取組みについて」  
講師：株式会社デンソーウェーブ 執行役員 FA・ロボット事業部長  
神谷 孝二 氏

◆講演 3

タイトル:「知能を持ったクルマと人間の共生」

講師: 名古屋大学未来社会創造機構 モビリティ社会研究所長  
鈴木 達也 氏

⑥ ロボット実演展示 (TECH Biz EXPO 来場者数 延べ10,201名)

《開催日 令和2年2月5日(水)~6日(木)》

ロボットメーカー、大学、研究機関及び地方自治体の全12団体での展示ブースにより、それぞれのロボット技術や製品を展示し、技術交流と商談を行った。

3. 人工知能に関する情報の収集・提供

情報提供事業の効果的方法として、ホームページの内容充実と適宜改良を行った。また、機関紙(AI Information)については、1月に発行し、財団の運営及び事業実施状況の周知に努めた。

4. 人工知能に関する相談・指導

公益財団法人への移行を機に「人工知能に関する相談・指導」事業の実施体制の充実を図っているが、相談件数はまだわずかであり、引き続き事業の広報活動が必要とされる。

◇研究開発・事業化等 支援・協力機関

(順不同・法人組織名省略)

- ・名古屋大学 ・名古屋工業大学 ・豊橋技術科学大学 ・愛知県立大学
- ・愛知工業大学 ・大同大学 ・中京大学 ・中部大学 ・名城大学
- ・産業技術総合研究所 ・新エネルギー・産業技術総合開発機構
- ・経済産業研究所 ・人工知能学会
- ・あいち産業科学技術総合センター ・名古屋市工業研究所
- ・経済産業省中部経済産業局 ・愛知県 ・名古屋市
- ・中小企業基盤整備機構 ・名古屋商工会議所

## II. 理事会の開催

第68回から第70回の理事会を以下のとおり開催し、平成30年度事業報告及び収支決算並びに令和元年度事業計画及び収支予算等のほか、役員改選等に関する議案等について審議した。

### 1. 第68回理事会

(1)日 時 令和元年6月6日(木) 13時00分～13時40分

(2)場 所 リンナイ株式会社 本社3階 第4応接室

(3)審議事項

〔決議事項〕

第1号議案 平成30年度事業報告及び計算書類等の承認を求める件

第2号議案 事業報告等に係る提出書類の承認を求める件

第3号議案 審査委員の委嘱に関する件

第4号議案 事務局長の選任に関する件

第5号議案 定時評議員会の招集について承認を求める件

(決議事項)

第1号議案 平成30年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事3名の選任に関する件

第3号議案 評議員3名の選任に関する件

第4号議案 専務理事の辞任に伴う退職慰労金の支払いの件

(報告事項)

(1)平成30年度事業報告の内容報告の件

(2)事務局長の選任に関する件

〔報告事項〕

・職務執行状況報告の件

### 2. 第69回臨時理事会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 令和元年6月26日(水)

(2)提案事項

〔決議事項〕

業務執行理事及び専務理事選定の件

### 3. 第70回臨時理事会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 令和元年7月19日(金)

(2)提案事項

〔決議事項〕

第1号議案 評議員会の決議の省略についての決定を求める件

第2号議案 評議員会の決議事項について承認を求める件  
(評議員会 提案議案)

決議事項 (1)理事の選任に関する件  
(2)評議員の選任に関する件

#### 4. 第71回理事会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 令和2年3月16日(月)

(2)提案事項

[決議事項]

第1号議案 令和2年度事業計画(案)の承認を求める件

第2号議案 令和2年度収支予算(案)の承認を求める件

第3号議案 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みの承認を求める件

#### 5. 理事会への報告の省略

(1)報告があったものとみなされた日 令和2年3月6日(金)

(2)報告事項

事業移管及び解散に関する経過報告の件

※令和2年3月6日、理事長内藤弘康が理事及び監事の全員に対して、みなし決議に関する理事会(令和元年度第71回理事会)の提案書を発送した際、理事会に報告すべき事項である当該報告事項の内容を含めて通知したことから、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第98条及び定款第44条の規定に基づき、当該報告事項を理事会への報告を要しないこととされたもの。

### Ⅲ. 評議員会の開催

令和元年度定時評議員会及び臨時評議員会を以下のとおり開催し、平成30年度事業報告、収支決算及び理事・評議員の選任議案等について審議した。

#### 1. 令和元年度定時評議員会

(1)日 時 令和元年6月26日(水) 10時00分～10時30分

(2)場 所 栄ガスビル プリンスルーム

(3)審議事項

[決議事項]

第1号議案 平成30年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事3名の選任に関する件

第3号議案 評議員3名の選任に関する件

第4号議案 専務理事の辞任に伴う退職慰労金の支払いの件

〔報告事項〕

- (1)平成30年度事業報告の内容報告の件
- (2)事務局長の選任に関する件

## 2. 臨時評議員会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 令和元年7月30日(火)

(2)提案事項

〔決議事項〕

第1号議案 理事の選任に関する件

第2号議案 評議員の選任に関する件

## IV. 人工知能研究振興等の継続的な事業実施の方策について

公益財団法人は、「出捐者から公的に付託された資金によりその設立目的の達成のため、社会全般を受益者として、継続的に公益目的事業を適正かつより効率的、効果的に行う。」ことが求められている。

こうした中で、極めて厳しい財政状況において、継続的に公益目的事業実施の維持・充実を図っていく方策として、他公益法人への事業引継ぎ等を引き続き検討を行った。

## 令和元年度 人工知能研究振興財団 研究助成交付対象研究一覧表

No	氏名	研究テーマ	助成額 (千円)
1	宮崎大学 医学部附属病院 病院 IR 部 研究員 串間 宗夫	医学的知識に基づく医療行為改善のための電子カルテ解析に関する研究	500
2	名古屋大学 情報基盤センター (兼)大学院情報学研究科 助教 山口 由紀子	標的型攻撃の侵入拡大経路推定に関する研究	500
3	大阪府立大学 大学院工学研究科 教授 本多 克宏	ソフトコンピューティング技術の応用による環境汚染物質のロバストな発生源解析の研究	500
4	千葉大学 助教 丸田 一輝	深層学習による周波数共用のための干渉推定	500
5	あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター分析加工技術室 主任研究員 長谷川 撰	食品微生物検査に潜在する情報を活用した菌叢推定技術の開発	500
6	明石工業高等専門学校 電気情報工学科 准教授 上 泰	触診等における人手による加圧を学習・再現させるための加圧力取得システムの開発	500
7	首都大学東京 助教 倉元 昭季	デジタルヒューマンモデルを用いた作業中の異常動作のリアルタイム検出システムの開発	500
8	国立大学東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授 清水 謙多郎	オートエンコーダと GAN を用いたタンパク質-薬剤候補分子の高精度複合体構造モデリング	500
9	名古屋大学 大学院情報学研究科 助教 小田 昌宏	大腸物理モデルベース深層学習を用いた大腸内視鏡治療支援システムの開発	500
10	名古屋工業大学 国際連携情報学専攻 准教授 アーメド・ムスタファ	深層強化学習に基づく大規模サービスプロビジョニングの実現	500

・応募件数：71件（要望額計：6,974万円）

・助成件数：10件（助成額計：500万円）